

2019年3月期 第2四半期(中間期)決算の概要

1. 損益の概況	1
2. 主要勘定の概況	5
3. 不良債権の状況	6
4. 自己資本比率の状況	7
5. 業績予想	7

1. 損益の概況

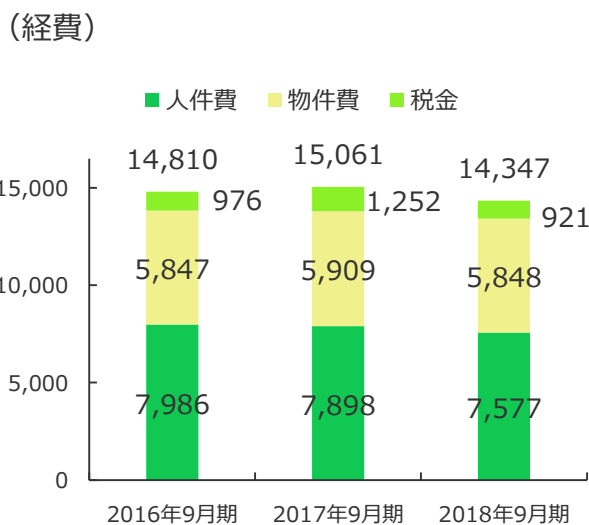
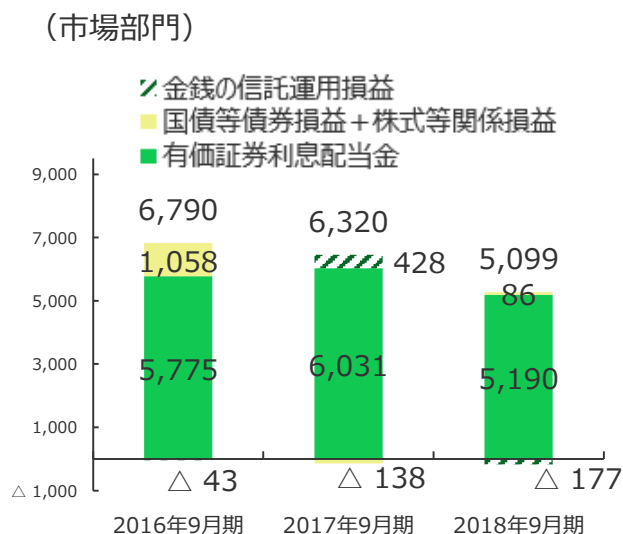
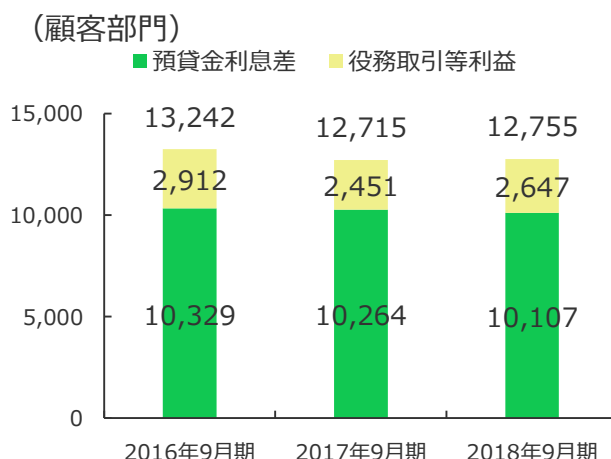
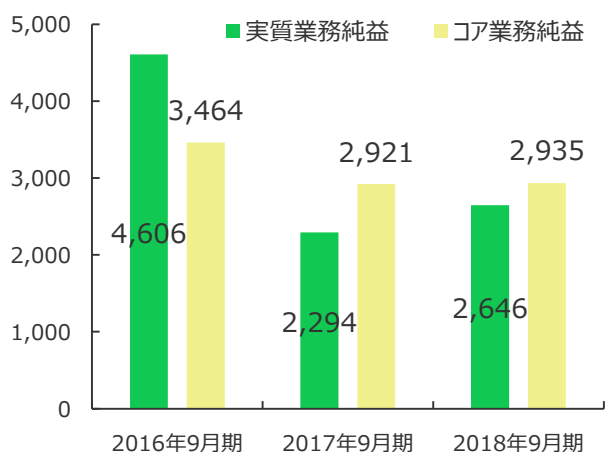
「フィデアホールディングス連結」

① 銀行の本業利益を示すコア業務純益は、資金利益の減少をコンサルティング営業体制の強化による役務取引等利益の増加や経費削減によりカバーし、前年同期比14百万円(0.4%)増加し29億35百万円。実質業務純益とともに、前年同期比増加に転じております。

部門別内訳では、顧客部門収益は貸出金利回りの低下の影響を預かり資産関連などの手数料収益の積み上げでカバーし前年同期比増加に転じております。市場部門収益は、マイナス金利環境の長期化や国内外の金利上昇リスクに配慮し、国債など債券の残高を減少させている影響で、有価証券利息配当金を中心に減少しております。また、経費については、コストマネジメントを徹底する中で着実な削減が進んでおります。

② 以上のほか、与信関係費用において貸倒引当金戻入益が減少したことなどを含め、経常利益は前年同期比4億55百万円(12.3%)減少し32億32百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比9億59百万円(30.7%)減少し21億61百万円となりました。

※ 主要項目の推移 「フィデアホールディングス連結」 (単位：百万円)



(ご参考)

「**庄内銀行単体**」 コア業務純益は、資金利益の減少を経費削減によりカバーし、前年同期比27百万円(1.7%)減少の14億97百万円となりました。経常利益は国債等債券売却損の減少を主な要因として前年同期比1億16百万円(8.2%)増加し15億22百万円、中間純利益は店舗移転に伴う特別損失の増加などから前年同期比2億10百万円(18.0%)減少し9億55百万円となりました。

「**北都銀行単体**」 コア業務純益は、資金利益の減少を投信生保関連手数料など役務取引等利益の積み上げや経費削減によりカバーし、前年同期比1億17百万円(11.1%)増加し11億75百万円となりました。経常利益は貸倒引当金戻入益や株式等関係損益の減少を主な要因として前年同期比3億12百万円(16.9%)減少し15億34百万円、中間純利益は前年同期比5億34百万円(33.9%)減少し10億40百万円となりました。

※ 概要表 「フィデアホールディングス連結、庄内銀行単体、北都銀行単体」

(単位：百万円)	番号	2018年9月期 (a)			2017年9月期 (b)			増 減 (a-b)		
		連 結	庄内銀行 単体	北都銀行 単体	連 結	庄内銀行 単体	北都銀行 単体	連 結	庄内銀行 単体	北都銀行 単体
経常収益	1	23,543	11,551	11,262	24,805	12,653	11,369	△ 1,261	△ 1,101	△ 106
業務粗利益	2	16,993	8,230	7,989	17,355	8,338	8,073	△ 361	△ 107	△ 84
コア業務粗利益 (2-10)	3	17,283	8,527	7,982	17,983	9,092	8,096	△ 699	△ 565	△ 114
資金利益	4	15,040	8,085	7,056	15,895	8,620	7,328	△ 855	△ 534	△ 271
うち預貸金利息差	5	10,107	5,425	4,798	10,264	5,468	4,927	△ 156	△ 43	△ 128
うち有価証券利息配当金	6	5,190	2,812	2,376	6,031	3,304	2,682	△ 841	△ 492	△ 305
役務取引等利益	7	2,647	837	1,283	2,451	879	1,025	196	△ 41	257
うち投信生保関連手数料	8	1,547	726	820	1,320	677	643	226	48	177
その他業務利益	9	△ 694	△ 693	△ 350	△ 991	△ 1,161	△ 280	297	468	△ 70
(国債等債券損益)	10	△ 289	△ 296	7	△ 627	△ 754	△ 22	337	457	29
経費	11	14,347	7,030	6,806	15,061	7,568	7,038	△ 713	△ 538	△ 232
うち人件費	12	7,577	3,335	3,107	7,898	3,510	3,298	△ 321	△ 174	△ 190
うち物件費	13	5,848	3,248	3,264	5,909	3,285	3,294	△ 60	△ 36	△ 30
実質業務純益 (2-11)	14	2,646	1,200	1,182	2,294	769	1,034	351	430	147
コア業務純益 (3-11)	15	2,935	1,497	1,175	2,921	1,524	1,057	14	△ 27	117
一般貸倒引当金繰入額	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
業務純益 (14-16)	17	2,646	1,200	1,182	2,294	769	1,034	351	430	147
不良債権処理額	18	33	9	△ 5	86	19	44	△ 53	△ 9	△ 49
貸倒引当金戻入益	19	394	238	251	858	409	538	△ 464	△ 170	△ 287
償却債権取立益	20	35	-	35	39	0	38	△ 4	△ 0	△ 3
株式等関係損益	21	376	200	175	488	141	347	△ 112	59	△ 171
金銭の信託運用損益	22	△ 177	△ 159	△ 18	428	389	38	△ 606	△ 549	△ 56
経常利益	23	3,232	1,522	1,534	3,687	1,405	1,847	△ 455	116	△ 312
特別損益	24	△ 246	△ 203	△ 77	△ 24	△ 16	△ 17	△ 222	△ 187	△ 60
税金等調整前中間純利益 (税引前中間純利益)	25	2,985	1,318	1,456	3,663	1,389	1,829	△ 678	△ 70	△ 372
法人税等合計	26	866	363	415	589	223	254	277	139	161
親会社株主に帰属する中間純 利益 (中間純利益)	27	2,161	955	1,040	3,121	1,165	1,575	△ 959	△ 210	△ 534
与信関係費用 (16+18-19-20)	28	△ 396	△ 229	△ 291	△ 811	△ 391	△ 532	414	161	240

① 2018年5月公表の業績予想との比較

「フィデアホールディングス連結」
 有価証券利息配当金など資金利益の計画比上振れ、経費や与信関係費用の計画比下振れを主な要因として、経常利益は当初業績予想を16億32百万円上回りました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は当初業績予想を9億61百万円上回りました。

(なお、2018年10月26日に中間期業績予想の上方修正を発表しております。修正後の業績予想は、経常利益32億円、親会社株主に帰属する中間純利益21億円としておりました。)

「フィデアホールディングス連結」

(単位：百万円)	2018年9月期 (実績)	業績予想(2018.5.14公表)	比較
経常利益	3,232	1,600	1,632
親会社株主に帰属する中間純利益	2,161	1,200	961

「ご参考 荘内銀行単体および北都銀行単体」

(単位：百万円)	荘内銀行 単体			北都銀行 単体		
	2018年9月期 (実績)	業績予想 (2018.5.14)	比較	2018年9月期 (実績)	業績予想 (2018.5.14)	比較
経常利益	1,522	900	622	1,534	600	934
中間純利益	955	600	355	1,040	500	540

② 資金利益の前年同期比増減要因

(単位：百万円)	2018年9月期 (a)			2017年9月期 (b)			増 減 (a-b)		
	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体
資金利益	15,040	8,085	7,056	15,895	8,620	7,328	△ 855	△ 534	△ 271
資金運用収益	15,773	8,528	7,359	17,094	9,296	7,885	△ 1,321	△ 768	△ 525
うち貸出金利息	10,571	5,704	4,983	11,045	5,981	5,195	△ 473	△ 276	△ 212
うち有価証券利息配当金	5,190	2,812	2,376	6,031	3,304	2,682	△ 841	△ 492	△ 305
資金調達費用	732	445	304	1,198	679	557	△ 466	△ 234	△ 253
うち預金等利息	463	279	184	781	513	267	△ 317	△ 233	△ 83

③ 役務取引等利益の前年同期比増減要因

(単位：百万円)	2018年9月期 (a)			2017年9月期 (b)			増 減 (a-b)		
	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体
役務取引等利益	2,647	837	1,283	2,451	879	1,025	196	△ 41	257
役務取引等収益	4,462	2,001	2,144	4,262	2,076	1,840	199	△ 75	304
うち投信関連手数料	480	230	250	450	232	218	29	△ 2	32
うち保険関連手数料	1,066	495	570	870	445	424	196	50	145
役務取引等費用	1,814	1,163	861	1,811	1,197	814	3	△ 33	46

④ 有価証券関係損益

(単位：百万円)	2018年9月期 (a)			2017年9月期 (b)			増 減 (a-b)		
	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体
国債等債券損益	△ 289	△ 296	7	△ 627	△ 754	△ 22	337	457	29
売却益	1,280	303	976	789	174	520	490	128	456
償還益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売却損	1,569	599	969	1,417	929	542	152	△ 329	426
償還損	-	-	-	-	-	-	-	-	-
償却	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株式等関係損益	376	200	175	488	141	347	△ 112	59	△ 171
売却益	625	235	389	605	171	433	19	64	△ 44
売却損	247	34	212	116	30	86	131	4	126
償却	0	-	0	0	0	0	△ 0	△ 0	0

⑤ 経費

(単位：百万円)	2018年9月期 (a)			2017年9月期 (b)			増 減 (a-b)		
	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体
経費	14,347	7,030	6,806	15,061	7,568	7,038	△ 713	△ 538	△ 232
人件費	7,577	3,335	3,107	7,898	3,510	3,298	△ 321	△ 174	△ 190
物件費	5,848	3,248	3,264	5,909	3,285	3,294	△ 60	△ 36	△ 30
税金	921	445	434	1,252	772	446	△ 331	△ 326	△ 11

⑥ 与信関係費用

(単位：百万円)	2018年9月期 (a)			2017年9月期 (b)			増 減 (a-b)		
	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体
与信関係費用	△ 396	△ 229	△ 291	△ 811	△ 391	△ 532	414	161	240
一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不良債権処理額	33	9	△ 5	86	19	44	△ 53	△ 9	△ 49
貸倒引当金戻入益	394	238	251	858	409	538	△ 464	△ 170	△ 287
償却債権取立益	35	-	35	39	0	38	△ 4	△ 0	△ 3

2. 主要勘定の概況

① 貸出金残高

2行合算の貸出金残高は、前年同期末比323億円減少し1兆7,427億円となりました。
 荘内銀行は消費者ローンを中心に減少、北都銀行は地方公共団体向け貸出を中心に増加いたしました。

(単位：億円)	2018年9月期末 (a)			2017年9月期末 (b)			増 減 (a-b)		
	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体
貸出金	17,427	9,209	8,217	17,751	9,549	8,201	△ 323	△ 339	15
事業性貸出	6,469	3,135	3,333	6,565	3,203	3,362	△ 96	△ 67	△ 29
消費者ローン	6,401	4,263	2,137	6,618	4,438	2,180	△ 217	△ 174	△ 42
地方公共団体向け貸出	4,557	1,810	2,746	4,566	1,907	2,658	△ 9	△ 97	87

② 預金等残高 (譲渡性預金を含む)

2行合算の預金等残高は、前年同期末比498億円減少し2兆5,503億円となりました。
 荘内銀行が預金等利回りのマネジメントを継続するなかで個人預金、公金預金を中心に減少、北都銀行は個人預金、法人預金を中心に増加いたしました。

(単位：億円)	2018年9月期末 (a)			2017年9月期末 (b)			増 減 (a-b)		
	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体
預金等	25,503	12,719	12,783	26,001	13,227	12,774	△ 498	△ 507	8
個人預金	18,327	9,354	8,972	18,655	9,710	8,944	△ 328	△ 355	27
法人預金	5,178	2,511	2,667	5,143	2,517	2,625	35	△ 6	41
公金預金	1,922	806	1,115	2,103	924	1,178	△ 180	△ 117	△ 63
金融機関預金	74	46	28	99	74	25	△ 24	△ 27	3

③ 預かり資産残高

2行合算の預かり資産残高は、前年同期末比129億円増加し3,890億円となりました。
 荘内銀行、北都銀行ともに、生命保険を中心に増加いたしました。

(単位：億円)	2018年9月期末 (a)			2017年9月期末 (b)			増 減 (a-b)		
	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体
合計	3,890	1,918	1,972	3,761	1,887	1,873	129	30	99
投資信託	799	419	379	776	418	357	23	1	21
公共債 (国債等)	67	37	29	105	66	38	△ 38	△ 29	△ 9
生命保険	3,024	1,460	1,563	2,879	1,402	1,477	144	58	86

④ 有価証券の状況

2行合算の有価証券残高は、金利リスクに配慮しつつ将来の収益基盤強化のためのポートフォリオのリバランスに取り組む中で、前年同期末比1,231億円減少し7,486億円となりました。

(単位：億円)	2018年9月期末 (a)			2017年9月期末 (b)			増 減 (a-b)		
	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体
有価証券残高	7,486	3,936	3,549	8,717	4,342	4,375	△ 1,231	△ 405	△ 825
国債	1,808	908	900	2,169	975	1,193	△ 360	△ 67	△ 292
地方債	2,313	1,280	1,032	2,364	1,409	954	△ 50	△ 128	77
社債	885	303	581	1,085	332	753	△ 200	△ 28	△ 171
株式	249	160	89	235	153	82	14	6	7
その他の証券	2,229	1,283	945	2,863	1,471	1,392	△ 633	△ 187	△ 446

※ 有価証券の含み損益の状況 (その他有価証券の評価損益)

(単位：百万円)	2018年9月期末 (a) 2行合算	2018年3月期末 (b) 2行合算	増減 (a-b)	2017年9月期末 (c) 2行合算	増減 (a-c)
その他有価証券 評価損益	28,017	27,503	513	29,873	△ 1,855
株式	9,900	8,832	1,068	8,758	1,142
債券	8,268	11,108	△ 2,839	12,241	△ 3,972
その他	9,848	7,563	2,285	8,873	974

3. 不良債権の状況

お取引先の経営課題やニーズにお応えするコンサルティング営業に注力する中で、2行合算の金融再生法開示債権残高は前期末比16億8百万円減少し320億69百万円、同比率は前期末比0.08ポイント低下し1.80%となりました。

(単位：百万円)	2018年9月期末 (a)			2018年3月期末 (b)			増 減 (a-b)		
	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体
金融再生法開示債権残高	32,069	23,160	8,909	33,677	23,935	9,741	△ 1,608	△ 775	△ 832
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11,833	8,865	2,968	11,794	8,215	3,579	39	649	△ 610
危険債権	17,103	11,498	5,604	18,823	12,957	5,865	△ 1,720	△ 1,458	△ 261
要管理債権	3,132	2,796	336	3,059	2,762	296	73	33	39
金融再生法開示債権比率	1.80%	2.46%	1.05%	1.88%	2.50%	1.17%	△ 0.08%	△ 0.04%	△ 0.12%

4. 自己資本比率の状況

フィデアホールディングス連結の自己資本比率は、内部留保充実への取り組みによる着実な自己資本額の増加とリスクセットの減少により、前期末比0.21ポイント上昇し9.42%となりました。

(単位：百万円)	2018年9月期末 (a)			2018年3月期末 (b)			増 減 (a-b)		
	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体
自己資本比率 (A)÷(B)	9.42%	9.68%	11.05%	9.21%	9.38%	10.98%	0.21%	0.30%	0.07%
自己資本の額 (A)	105,537	59,327	55,696	104,127	58,770	54,952	1,410	556	744
コア資本に係る基礎項目	107,219	59,689	56,803	106,095	59,173	56,351	1,124	516	451
コア資本に係る調整項目(△)	1,681	362	1,107	1,968	402	1,399	△ 286	△ 39	△ 292
リスク・アセット (B)	1,120,162	612,455	503,738	1,130,268	626,009	500,179	△ 10,105	△ 13,554	3,558

5. 業績予想

第3次中期経営計画の柱であるコンサルティング営業の強化と経費構造改革を具体的に進めるなかで、中間期業績につきましては、役務取引等利益の増加や経費の減少により銀行の本業利益を示すコア業務純益の増益を確保。これら中間期の実績を踏まえ通期の業績予想を見直した結果、有価証券利息配当金を中心に資金利益が当初計画を上回る見込みとなったほか、お取引先の経営改善に向けた取り組みから与信関係費用が計画を下回る見込みとなったことなどから、前回発表予想を上方修正いたしました。連結経常利益は当初予想比12億円増加の44億円、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想比6億50百万円増加の34億50百万円を見込んでおります。第3次中期経営計画の2年目となる今期は、法人個人一体の営業体制への改革、コストマネジメントの徹底など、筋肉質な経営体質の確立に向けた施策に着実に取り組んでまいります。

また、普通株式の配当金につきましては、中間配当金1株当たり3円を決定いたしました。期末配当金3円とあわせて年間配当金6円を予定しております。

「フィデアホールディングス連結」

(単位：百万円)	2018年度 通期		当初比 (a-b)
	2018.11.12 修正後 業績予想 (a)	2018.5.14 公表 当初予想 (b)	
業務粗利益	33,700	32,600	1,100
うち資金利益	29,400	28,300	1,100
うち役務取引等利益	5,300	5,300	0
うち国債等債券損益	△ 300	△ 300	0
経費	29,000	28,800	200
実質業務純益	4,700	3,800	900
コア業務純益	5,000	4,100	900
与信関係費用	900	1,700	△ 800
株式等関係損益	300	300	0
経常利益	4,400	3,200	1,200
親会社株主に帰属する当期純利益	3,450	2,800	650

「ご参考 荘内銀行単体および北都銀行単体」

(単位：百万円)	通期 業績予想 (2018.11.12 修正後)	
	荘内銀行	北都銀行
経常利益	2,000	2,000
当期純利益	1,600	1,500

※ フィデアホールディングス 普通株式の1株当たり配当金

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
2018年3月期	3円00銭	3円00銭	6円00銭
2019年3月期	3円00銭	(予定) 3円00銭	(予定) 6円00銭